

# サポートルームだより

1月から新たに7人を迎え、サポートルームは両校合わせて82人になりました。新たな環境に1日も早く慣れるよう、温かい雰囲気の中で学びのある指導をしていきます。

## 今後の予定

1月14日(火)～ サポートルーム3学期 指導開始  
3月3日(月)～18日(火) サポートルーム個人面談期間  
3月10日(月) サポートルーム 今年度指導終了

## お知らせ

### 【進学支援シートについて】

6年生を対象に「進学支援シート」を配布します。これはお子さんがよりよい中学校生活を送れるよう、小学校で受けていた支援（主に学習面について）を町田市立の中学校へ引き継ぐものです。（「学校生活支援シート」は生活全般についての支援内容を引き継ぐものです。）

「進学支援シート」を利用した引継ぎを希望される方は用紙に記入し、2月7日(金)までにサポートルームまでご提出ください。希望されない方は『進学支援シートは不要』と、サポートルーム連絡帳に記入し、サポートルームまでお知らせください。

### 【個人面談について】

日程の希望調査票を2月中旬にtetoruで配布します。

面談の内容は後期の指導の様子、次年度の指導目標、学校生活支援シートの内容確認です。

## コラム 忘れ物について

お子さんに何度も言い聞かせているのに、なかなかうまくいかないことは多いのではないのでしょうか。でも、お子さん自身、失敗したくて失敗しているわけではありません。そんなときに「何回言えば分かるの。」「今度忘れ物をしたらゲーム禁止」のように何度も叱られると、今度は忘れたことを隠すようになるかもしれません。

忘れ物をしないための工夫を家族や友人などに聞くと、お子さんに合った具体的な方法が見つかるかもしれません。上手くできたときには、すかさず「やったね！」と一緒に喜んだり、「忘れ物が～回くらいになってきたね。」のように、過去の姿と比べて成長できた点を具体的に褒めたりしてください。よい結果になると、「またやってみよう。」という気持ちが芽生えます。

まずは3日間続けることが、習慣化につながる第一歩です。その後、1週間、1ヶ月と目標の期間を徐々に延ばすことで、よい習慣が身に付きやすくなります。

## グループ授業【相手の気持ちを読み取ろう】



ボールを投げる順番をサポートルームで決めたときのことです。Aさんが「僕が1番やるね。」と言いました。Bさんは「う、うん…。」とやや首を傾げながら頷いていたのですが、AさんはBさんの様子や思いに気が付かないまま「じゃあ決まりね。」とすぐ決める…。ということがありました。

人は無意識のうちに、自分の気持ちを表情やしぐさなど何らかの手段で表出しています。教員が表情を変化させたり、「なるほど。」と頷いたりして、クイズ形式にして実際にやって見せることで、そのときの気持ちを読み取る活動をしました。

### 〈表情・仕草〉

気持ちが表情に出るとき、とくに『目・口・眉』に大きな変化が表れます。イラストで示すだけでなく、実際に教師が表情を変化させることで、子供たちは表情に注目して「目を細めて、口が“へ”の字”になっていたから、先生は悲しい気持ちかな。」と予想していました。

また、仕草に感情が出る人もいます。「頷きながらの『なるほど。』」と「首を傾けながらの『なるほど。』」を実際に教師がやって見せることで、気持ちを予想させました。



「目・口・眉」の違いがハッキリと分かるイラストを使いました。

### 〈声の高さ〉

気持ちは声の高さにも現れます。「嬉しい・楽しい」とときには高くなり、「悲しい・怒っている」とときには低くなります。「やめて」という言葉を例に、教師が声の高さを変えて見せたことで、「声の高さが低いから、本当に嫌なんじゃないかな。」と、声の高さから予想できるようになった児童もいました。



指導をしたことで、最初は気付いていなかった子が、友達の返事を聞き「〇〇さんは本当にいいの？」と声を掛けることができるようになりました。どうして気付いたのかを聞くと、「反応する速さが遅かったり、眉をひそめたりしていたから。」と発表していました。

相手の気持ちに気づきやすくなる方法を、サポートルームで今後も指導していきます。